

務台さんは地域にとって、日本にとって必要な方です。皆様とともに支援の輪を広げていきたいと思ひます。

むたい俊介後援会会長
社会医療法人財団慈泉会理事長 相澤 孝夫
相澤病院経営最高責任者



【フォトギャラリー】活動の様子を写真でお届けします



能登半島の志賀町にトレーラーハウスを届ける



奈川野麦峠祭り記念山行



豊科成相初市こども神輿で激励



事務局長を務めるシェルター議連で岸田総理に提言



有明山語りの会とあづみ節を唄う



環境委でインドネシアの廃棄物事業所を訪問



小川村立屋の桜まつりを訪問



信濃町一茶音頭に参加



大北建設労連の大会に参加



池田町で小学生と枝豆の種まき



波田スイカ村にて



有明山に初登頂 滝で涼む

むたい俊介 ニュース

衆議院環境委員長
衆議院議員

山・里・人を元気に!



ごあいさつ

衆議院環境委員長として第213回通常国会で3本の法律を成立させることができました。

委員会として国会審議に加え積極的に現場にも足を運んでいます。岡山県でのPFAS汚染の現場、ベトナム、インドネシアの廃棄物処理への日本支援プロジェクト視察も行いました。環境分野は、私の重点取組の1つです。これからも山岳基本法や中山間地域振興など、地元の課題解決に努めてまいります。

衆議院議員 務台 俊介



▲委員長報告で本会議場で登壇

活動をご紹介します

現場主義!

災害、課題の現場をしっかりと確認し、予算、制度に繋がります。すぐに足を運びます。



7月の上高地豪雨災害の現場を視察

地域の皆さんと共に!

中山間地域をはじめ、くまなく地元を回っています。直接お話をお聞きするのが私の政治活動の原点です。



松本市今井の土地改良関係者と

議連等の活動も活発に!

過疎対策特別委員会の現地視察で長野市大岡地区の山村留学施設、飯綱町、信濃町を視察しました。数多くの議連も運営し議員立法も手がけています。



過疎対策特別委員会で長野市中条のジビエ加工センターを視察



累計発信数377以上
ホームページ上で様々な政策メッセージを発信中!
最新号はこちら [むたい俊介HPメッセージ](#)



各地域でみなさまのお声を実現させています

北安曇郡

- 砂防事業促進
- 松糸道路
- スキー場整備支援
- 大糸線再生支援
- 特定地域づくり協同組合発足

大町市

- 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業
- 大町ダム再編事業

安曇野市

- 黒沢川貯水池(三郷地区)
- 犀川築堤(明科地区)
- 松糸道路安曇野道路着工
- 国道19号拡幅(明科地区)
- 森のようちえん支援

東筑摩郡

- 庁舎の省エネ化(朝日村)
- 畑地の土地改良支援(山形村)

長野市・上水内郡

- 長野市消防局豊野分署新規開署(豊野)
- 台風19号災害対応(豊野)
- 災害復旧対策(小川村・戸隠・鬼無里)
- 県道橋りょう改良(もみじ橋)
- 国道19号小松原地区復旧工事
- 国道19号信州新町地区(みずす橋付近)復旧工事
- 山村留学支援(大岡)
- 過疎地指定(信濃町・飯綱町)
- 宿坊等の高付加価値化改修事業採択(戸隠)

東筑摩郡

- 筑北スマートインターチェンジ設置(筑北村)
- 犀川築堤(生坂村)
- 脱炭素先行地域の指定(生坂村)
- 特定地域づくり協同組合発足(生坂村)
- 過疎対策事業促進(全域)

松本市

- 国道158号奈川渡改良
- 脱炭素先行地域認定
- 国道19号拡幅
- 梓川災害復旧対策
- 中部縦貫道促進
- 梓川八景山橋の予算化
- 上高地河床上昇対策

▲大町ダム再編事業促進期成同盟会総会にて



▲筑北スマートI.C.開通式



▲国道158号奈川渡改良の現場を視察

現在までの主な役職を紹介します (2024年8月 現在)

- [衆議院]**
 - 環境委員会 委員長(※現職)
 - 環境委員会 理事
 - 憲法審査会 委員
- [政府]**
 - 環境副大臣兼内閣府副大臣
 - 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官
- [党役職(自由民主党)]**
 - 過疎対策特別委員会 事務局長(※現職)
 - 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(新過疎法)を成立(R3)
 - 環境部会 部会長代理
 - 憲法改正推進本部 幹事
 - 国際局 次長
 - 広報本部広報戦略局 次長
 - 雇用問題調査会 幹事
 - 子どもの元気!農山漁村で育むPT 事務局長(※現職)
 - 環境・温暖化対策調査会 幹事
 - 地方行政調査会 幹事
 - 中央政治大学院 副学院長
- [その他]**
 - 長野県護国神社 総代会長
 - 一般財団法人全国山の日協議会 副会長・理事
- [議員連盟]**
 - 超党派「山の日」議員連盟 事務局長
 - 国民の祝日「山の日」の制定法を成立(H26)
 - 自由民主党水道事業促進議員連盟 事務局長
 - 自由民主党最低賃金一元化推進議員連盟 事務局長
 - シェルター(堅固な避難施設)議員連盟 事務局長
 - わさび振興議員連盟 事務局長
 - 茅葺き文化伝承議員連盟 事務局長
 - 自由民主党木質バイオマス・竹資源活用議員連盟 事務局長
 - 森のようちえん振興議員連盟 事務局長
 - 捕獲鳥獣食肉利活用推進議連(ジビエ議連) 事務局長
 - 自由民主党ウィンタースポーツ&リゾーツ議員連盟 事務局長代理
 - 人口急減地域対策議員連盟 事務局長
 - 特定地域づくり事業法を成立(R1)
 - 自由民主党消防議員連盟 事務局長
 - 消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律を成立(H25)
 - 自転車活用推進議員連盟 事務局長兼自転車活用PT座長代理
 - 自転車活用推進法を成立(H28)
 - 砂防事業推進議員連盟 事務局長
 - 超党派自然活動推進議員連盟 副会長
 - 日本・ウクライナ友好議員連盟 事務局長
 - 日本・マルタ共和国友好議員連盟 幹事長
 - 日本・ソロモン諸島議員連盟 事務局長

むたい俊介プロフィール

昭和31年 (1956年) 安曇野市(旧三郷村)生まれ、大町市・旧豊科町で育つ 豊科中学・松本深志高校卒業	平成24年 第46回衆議院議員総選挙で長野県第二選挙区にて初当選
昭和55年 東京大学法学部卒業後、旧自治省(現総務省)入省、地方分権推進委員会事務局参事官、消防庁防災課長、自治財政局調整課長、自治体国際化協会ロンドン事務所長などを歴任	平成26年 衆議院議員 当選(2期目)
平成21年 衆議院議員選挙に初挑戦	平成28年 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官
平成22年 神奈川大学法学部自治行政学科教授を務める	平成29年 衆議院議員 当選(3期目)
	令和3年 衆議院議員 当選(4期目)、環境副大臣兼内閣府副大臣
	令和5年 衆議院環境委員長

Message メッセージ

自民党長野県第二選挙区支部長 務台 俊介
衆議院環境委員長 衆議院議員

沖縄の戦跡を訪問して考えたこと

7月12日、沖縄県糸満市の沖縄戦の最後の激戦地、摩文仁の丘、ひめゆりの塔を訪問する機会がありました。私は長野県護国神社氏子総代会長を仰せつかっており、現在の日本の平和と繁栄は、先の大戦での戦没者の皆様の犠牲の下に築かれているとの思いを胸に沖縄訪問を行わせていただきました。

私は、亡き父が、満蒙開拓団の一員として、終戦直前に関東軍に入隊、敗戦でシベリアに送られ1年11ヶ月の強制労働を経験した経緯もあり、戦争と平和の問題に関しては若い時分から特別な関心がありました。「戦争と平和」、「人間の条件」、「夜と霧」といった小説、ドキュメンタリーに加え、「実録太平洋戦争」、「失敗の本質」といった戦争の本質に迫る書物も読んできました。戦争特番とも言うべきNHKの「映像の世紀」には食い入るように観て参りました。

本や映像だけではなく、実際に戦争や惨劇の現場となった戦跡も訪問する機会を多々得てきました。昭和55年に(旧)自治省に入省後の直後赴任する県には広島県を選択しました。

当時の広島は、原爆投下から35年を経っていましたが、23歳の私は、実際に広島市に住んでみて、少しでも被爆地の実相に触れてみたいと考えました。役所勤務の時代には、長崎市の被爆地も何度か訪問しました。同じ被爆地でも、広島市はウラン型原爆、長崎市はプルトニウム型原爆の投下を蒙り、米国は二つの種類の原爆の差異を実験したという理解を私はしています。最近、マンハッタン計画を主導したオープンハイマーの軌跡を「映像の世紀」で観ましたが、原爆を開発する側の論理を、怒りを堪えながら心に刻みました。

2007年から2008年にロンドンに赴任した折には、長男を伴いチェコのテレジン強制収容所を訪れました。そして、国会議員となってからは2023年にポーランドのアウシュビッツ強制収容所を訪問しました。意図的にユダヤ人という「敵」を作り上げ、人々



▲ひめゆりの塔 訪問の際の動画はこちら

◀ひめゆりの塔

の怒りをそこに向け、戦争遂行の大義としたナチスのあざとさを心に刻みましたが、アウシュビッツ収容所は、その展示方針の中に、ナチスを非難するのではなく人間の本来には人をそういう行動に駆り立てかねない闇があるということに自覚すべきとの啓発の姿勢が色濃く垣間見えました。ハンナ・アーレントが指摘した「凡庸な悪」の意味を我々もしっかりと認識しなくてはなりません。

東南アジアの戦跡も訪問してきています。ミャンマーのインパール作戦犠牲者慰霊碑、フィリピンのミンダナオ島戦没者慰霊碑も訪問させていただきました。私は、日本ソロモン諸島友好議員連盟の事務局長でもあり、機会を得て、ガダルカナル島の戦跡を訪ねたいと願っています。

今回の沖縄戦跡訪問も加わり、私の慰霊訪問の履歴に厚みを加え、私なりの歴史認識と平和実現の手段についての考え方を深めて参りたいと思っています。

それにしても、歴史は繰り返すという感が強い昨今です。ロシアのウクライナ侵略は、ナチスのチェコ侵略から始まった第二次大戦の展開を彷彿とさせます。中国の国際秩序再編の野望は、戦前の日本の東亜新秩序構築の動きと重なって見えます。憲法上の制約で、我が国は世界の平和構築に当たって取り得る手段が大きく制約されていますが、その現状が正しいのかも含め、将来の平和構築、安全保障制度の在り方についても考えていかなければなりません。